

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立西部特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立西部特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	47人

1. 使用状況

寄贈物品名	大型 2 連ブランコ
使用学年及び人数	全学年(1～6年)47人
使用頻度	4～5月、10～11月
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・暑くも寒くもない時期に使用。 ・授業の時間や昼休み、学級活動で子供たち同士が関わって遊ぶ時に使用。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・安全にバーが付いているため、一人で座ってブランコに乗ることができる。 ・座った姿勢が難しい場合も、寝た姿勢でブランコに乗ることができる。 ・座位が不安定な子など、どの子もブランコを楽しむことができている。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランコは、重度の障害がある児童生徒にはとても良い遊具である。授業における活動の一つとして使用することができた。また、友達と一緒に揺れたり、順番に乗ったりすることで人とかかわりを豊かなものにする遊具として有効活用している。 ・普段は、室内で活動することが多くなってしまいが、ブランコがあることで外に出て外気を感じながら楽しむことができている。今後も利用していきたいと思う。
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の時に、保護者に紹介をした。実際にブランコに乗り、良さを実感していた。

2. 活用の様子



一人でブランコに乗ることができました。



身体が倒れないように座って乗れました。
色々な方向に揺れて面白かったです。



一人で寝た姿勢で乗りました。
転がり落ちる心配もなく、ブランコの揺れを楽しみました。